

2023年度

京都芸術大学大学院 研究員報告

芸術研究科 山田 賢治



# 横浜華僑同郷団体の動き

## 横浜中山郷友会（2012～）

広東語講座を  
毎月実施



横浜中山郷友会  
広東語講座 (2)  
in横浜山手中華学校

2023年10月12日  
HayamaWaterfront合同会社



# 横浜華僑同郷団体の動き

## 広東語を学んだきっかけ

- ・ 出自を自覚してアイデンティティ↑
- ・ “ビジネス上の敵”を知りたい

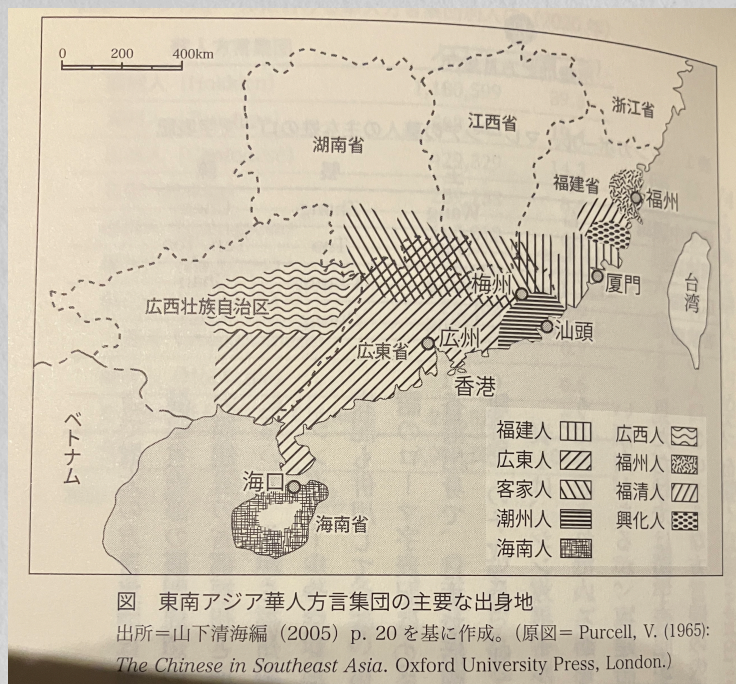
(華僑3世)

「広東でビジネスをする際、詳細の合意の場面で先方が広東語を使ってくる  
ことがあり、理解にズレが生じない  
よう学びたい」



# 横浜華僑同郷団体の動き

## 方言集団としての同郷団体



中国国内の異なる方言間で意思疎通は困難



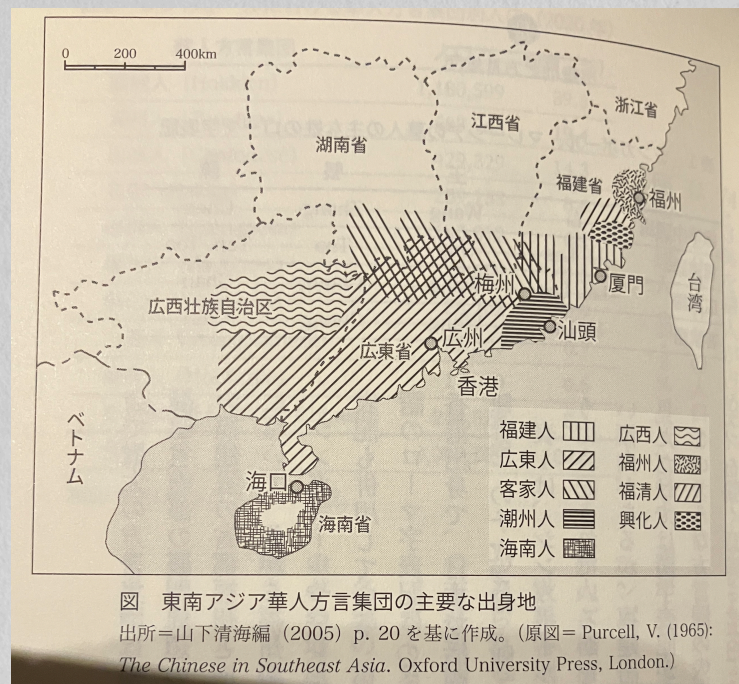
方言は「外国語」 距離的に近いが別の言語



同族意識、帰属意識 ⇒ アイデンティティ

# 横浜華僑同郷団体の動き

## 方言集団としての同郷団体



各地の華僑華人社会を理解しようとする時、  
中国のどの地域の出身者（方言集団）が中心になって形成されているかを知る必要  
ex. SF, NY, 横浜→広東人 長崎→福清人など  
→言語も保存、継承へ。どのように？

<参考文献> 山下清海「華僑・華人を知るための52章」明石書店 2023

# 横浜中華街



横浜中華街の文化資産 = 中国を思い起こさせる文化・情緒・人

# 横浜中華街の文化資産保存の現状



## 1. 中華街研究と資料収集がバラバラに行われている

(横浜市全体の研究・資料収集を行っている公的機関) ⇒**中華街に特化した施設はない**

横浜開港資料館—開港時の横浜市の研究・資料収集 古地図のコレクションが充実

横浜市史資料室—市民からの様々な資料提供があり 写真のコレクションは豊富

横浜市発展記念館—横浜市の昭和戦前期を中心とした研究・資料収集 開港資料館以降の地図コレクション

横浜ユーラシア文化館—中華街研究の第一人者が副館長

(中華街や華僑の研究・資料収集を行っている個人ライブラリー) ⇒**将来的に維持できるか**

曾徳深さん—中華料理店、貿易会社等の経営者。横浜山手中華学校理事長

符順和さん—教育者。横浜山手中華学校を定年退職後、学習塾「寺子屋」主宰

## 2. 有形文化資産の維持・伝承がバラバラに行われている

中華学院、山手中華学校、元街小学校 —獅子舞、龍舞などの技の伝承

横浜中華芸術学校、シルクロード舞踏館 —伝統芸能の伝承

山下町町内会 —夏祭り、太極拳

横浜商科大学「まちなかキャンパス」—地元の人を対象とした文化教室 など

# 横浜中華街の文化資産保存の現状

符順和さん一教育者。横浜山手中華学校を定年退職後、学習塾「寺子屋」主宰



書籍、新聞、写真、チラシ、会誌、名簿、パンフレット、教科書など個別に収集





# 横浜中華街博物館構想（提案）

## なぜ博物館をつくるのか

### ▼機運の高まり

横浜中華街の歴史・伝統を継承することの  
大切さを認識

### ▼分散している資料の集積→保存・継承・活用

### ▼来街者が横浜中華街を“知る”場所がない



# 横浜中華街博物館構想（提案）

## どんな博物館を目指すか

### 1) 博物館の性格・コンセプト

▼横浜中華街の歴史・伝統の継承

▼横浜中華街自身が持っている魅力の発信・発掘

→華僑華人の高齢化による危機感



# 横浜中華街博物館構想（提案）

## どんな博物館を目指すか

### 2) 博物館の機能

#### ▼展示

- ・ アナログ資料（関東大震災で多くは消失）  
2つの中華学校に残る獅子頭や教科書
- ・ デジタル（バーチャル）展示  
「映像」アーカイブスの推進  
→文化や暮らしなどを華僑華人の証言で



# 横浜中華街博物館構想（提案）

## どんな博物館を目指すか

### 2) 博物館の機能

▼体験→修学旅行生の学習の場、

獅子頭制作、獅子舞体験など

路地裏の家で華僑の暮らし体験（解説付）

▼研究の場

中華街研究者増加。図書室設置、学芸員育成



# 横浜中華街博物館構想（提案）

## どんな博物館を目指すか

### 3) 施設の規模

展示物の数に合わせた「箱」の大きさ

→常設展、企画展

バックヤードの整備



# 横浜中華街博物館構想（提案）

## 当面の課題

- ・合意形成
- ・展示物の収集方法
- ・資金
- ・運営主体
- ・設置場所など

<2023.10.28-29 日本華僑華人学会研究大会>

シンポジウム「地域社会における華僑文化遺産の保存、継承、活用」  
→神戸、長崎などの取り組みの発表があり、今後の参考とする

